

藤田観光 昭和100年イヤー特別企画 ニュースレター

【第6弾】WHGホテルズの歴史を振り返る

藤田観光株式会社は、「健全な憩いの場と温かいサービスの提供により、潤いのある豊かな社会の実現に貢献する」という社是のもと、宿泊、リゾート、婚礼、レジャーなどの事業を積極的に展開してまいりました。そして、多くのお客さまや関係者の皆さまに支えられ、2025年11月7日に会社設立70周年を迎えました。

2026年は、昭和元年から数えて100年の節目の年、昭和100年イヤーにあたります。昭和30年に設立し70周年を経て迎えるこの特別な年に、当社の歴史を振り返りながら、昭和という時代が私たちの礎となっていることを改めて感じていただける企画を展開してまいりました。

第6弾は、「WHGホテルズ」の歴史についてご紹介します。



開業当時の新宿ワシントンホテル

■WHGホテルズのあゆみ

TOPIC 1	昭和48年	1973年	当社初の直営ワシントンホテル、「札幌第1ワシントンホテル」 （のちに札幌ワシントンホテルへの建て替え・名称変更を経て現在の ホテルグレイスリー札幌）開業
TOPIC 2	昭和58年	1983年	「新宿ワシントンホテル」開業
	昭和61年	1986年	「新宿ワシントンホテル新館」（現ANNEX〈別館〉）開業
TOPIC 3	平成20年	2008年	新ブランド「ホテルグレイスリー」誕生 「ホテルグレイスリー田町」開業
TOPIC 4	平成26年	2014年	WHG始動
	平成30年	2018年	WHG初の海外出店、「ホテルグレイスリーソウル」開業
TOPIC 5	令和元年	2019年	新ブランド「HOTEL TAVINOS」誕生 「ホテルタビノス浜松町」開業

■<TOPIC 1>当社初の直営ワシントンホテル、「札幌第1ワシントンホテル」開業



昭和48年（1973年）6月、当社初の直営ワシントンホテル「札幌第1ワシントンホテル」を開業しました。初代社長である小川栄一は、同ホテルの開業に際して、ジョージ・ワシントンの建国精神を称え、その名にちなんで「ワシントンホテル」と名付けたと語りました。

「出張旅費の範囲で、できれば夕食時に一杯ビールが飲めて、子どもにちょっとしたお土産を買えるようにしたい」というコンセプトのもとワシントンホテルは誕生しました。

従来の「出張は上司と旅館に相部屋」という概念を変え「ビジネスホテル」という新たなホテル分野の基盤を作っていました。

※ワシントンホテル1号店は昭和44年（1969年）開業の名古屋第1ワシントンホテル。(株)名古屋国際ホテル（現在のワシントンホテル(株)）が運営。

■<TOPIC 2>新宿ワシントンホテル開業



昭和58年（1983年）12月、当時1棟としては日本一の規模となる1,301室の「新宿ワシントンホテル」を開業しました。

大規模な客室数に伴い、従来の金属製ルームキーではキーラックの長さが十数メートルにも及ぶことが予想されたため、当時先進的であった紙製のカードキーを導入しました。当時はカードキー自体が珍しく、記念に持ち帰られるお客さまも多くいらっしゃいました。

また、ホテル初といわれる自動フロントシステムの導入も行うなど、ワシントンホテルはそれ以来、時代に合わせた新しい仕組みや技術の導入を積極的に進めました。

■<TOPIC 3>新ブランド「ホテルグレイスリー」誕生 「ホテルグレイスリー田町」開業

平成20年（2008年）10月、当社はワシントンホテルよりグレードの高い新ブランド「ホテルグレイスリー」を立ち上げ、「ホテルグレイスリー田町」を開業しました。ブランド名は「grace（高貴・上質）」に場所を表す「-ry」をあわせた造語「GRACERY」。

新ブランド誕生は、ツインの2名利用宿泊を基本としていたシティホテルがシングル1名宿泊市場にも進出している中で、差別化を図る新たな選択肢が求められていたことが背景にあります。

ワシントンホテルの標準客室が12～13㎡であったのに対し、ホテルグレイスリーでは15㎡以上のゆとりある客室を基本とし、より上質で快適な滞在を目指しました。



■<TOPIC 4>WHG始動

平成26年（2014年）、ワシントンホテル（WH）とホテルグレイスリー（HG）の新たな総称「WHG」を始動しました。

「ワシントンホテル」は、地方の中核都市や首都圏で働くビジネスパーソンのニーズに応えるブランド。「ホテルグレイスリー」は、家庭や職場とは異なる“サードプレイス（第三の居場所）”として、旅やレジャーに新たなスタイルを提案するブランドです。

「ワシントンホテル」と「ホテルグレイスリー」はそれぞれの魅力を高め、多様化するビジネスホテルのニーズに合わせてお客さまの満足度を向上させるため「WHG」として展開をはじめました。



■<TOPIC 5>新ブランド「HOTEL TAVINOS」誕生 「ホテルタビノス浜松町」開業

令和元年（2019年）、インバウンド需要の高まりを背景に20代後半から30代のミレニアル世代の訪日外国人客をターゲットに「HOTEL TAVINOS」を立ち上げました。コンセプトは「Active & Relax」。旅を楽しみ疲れを癒す、旅の中心にあるホテルとして「TAVI（旅）」×日本を楽しむ旅の「Space（巣）」でありたいとの想いで命名しました。

第一号として開業した「ホテルタビノス浜松町」では、日本の文化を象徴する「MANGA（マンガ）」を館内デザインテーマに採用。滞在時間が短いゲストの実態を踏まえ、客室は必要最小限の家具に絞り、浴室はシャワーブースのみとすることでコンパクトながら居住性を確保し、くつろげる空間を実現しました。ロビーには旅情報の発信・収集ができる共有スペースを設け、滞在中の交流を促進。また、AIコンシェルジュを導入し、ホテルおすすめの観光情報などをタイムリーに提供しています。



昭和100年イヤー特別企画 第6弾では、「WHGホテルズ」のあゆみをご紹介します。

昭和の時代から今日に至るまで、時代とともにホテルへのニーズは多様化していますが、どんなに時代が変わっても変わらない私たちの想いがあります。いつでもお客さまの「笑顔」と「ありがとう」のいちばん近くでありたい——そのおもてなしの精神は、朝の一皿にも込められています。

WHGホテルズでは「早起きしたくなる、朝ごはん。」をコンセプトに、地域の食文化と旬に出会える地産地消の郷土料理を中心とした朝食ビュッフェを展開しています。心と体を温かく満たす朝食で、皆さまのお越しをお待ちしております。



ホテルグレイスリー札幌
セルフ海鮮丼



ホテルグレイスリー田町
東京産の新鮮な野菜を使用したサラダバー



キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
もつ鍋

■『WHGホテルズ×カゴメ』コラボレーション企画 9月17日（木）～12月16日（水）開催

WHGホテルズ29施設では、カゴメ株式会社（愛知県名古屋市）と初コラボレーションし、『旅の真ん中にぎゅっと野菜を ～WHGホテルズで過ごす いつもよりカラフルな朝～』企画を、本年9月17日（木）から12月16日（水）まで開催します。

各ホテルではカゴメ製品を使ったオリジナルの野菜中心メニューを提供し、会場には手のひらをかざすだけで推定野菜摂取量が分かる「ベジチェック®」※1を設置、測定で参加できる豪華景品キャンペーン※2も行います。また、ホテルグレイスリー田町・横浜桜木町ワシントンホテル・仙台ワシントンホテルの3ホテルでは期間限定で「野菜生活100」コラボルームを展開。色鮮やかな野菜に囲まれた特別な空間で、“野菜に興味を持つきっかけ”となる体験をご提供いたします。フェア期間中の10月10日「トマトの日」には来場者にカゴメトマトジュースをプレゼントします。さらに、フェア期間中の10月10日「トマトの日」に朝食をご利用の方にカゴメトマトジュースをプレゼント。宿泊を通じて楽しみながら野菜の魅力を学べる、ウェルビーイング志向の朝体験をお届けします。

※1「ベジチェック®」はカゴメの登録商標です。

※2 キャンペーンに参加するにはTHE FUJITA MEMBERSへの入会が必要となります。



期間：2026年9月17日（木）～12月16日（水）

URL：<https://whg-hotels.jp/page/kagome/>

提供メニュー（一部）



ホテルグレイスリー浅草 「ラタトゥイユ」

旨味が詰まったトマトソースで、4種の彩り野菜を煮込みました。お野菜の甘みとトマトの酸味が口いっぱいに広がります。パンや卵料理とも相性抜群。



横浜桜木町ワシントンホテル 「スペルト小麦のトマトリゾット」

お米の代わりにスペルト小麦を使用したトマトリゾット。プチプチ食感とトマトの旨味がじんわり広がる、いつもとは一味違う一皿をどうぞ。



佐世保ワシントンホテル 「長崎郷土料理風 スーパイコ（トマトケチャップ仕立ての酢豚）」

長崎の郷土料理「スーパイコ（酢豚）」 ケチャップを使った特製ソースです。お肉と野菜の旨味に、トマトの酸味が絶妙にマッチする朝に嬉しい味わい。

藤田観光株式会社は、日本における観光業界の先駆けとして 1948 年に「箱根小涌園」、1952 年に「椿山荘（現ホテル椿山荘東京）」を開業、その後、1955 年に会社を設立しました。人材や文化財などのあらゆる企業資産を最大限に活用し、より多くのお客さまに憩いの場と温かいサービスを提供するとともに、ユニークなコンテンツ展開・事業展開を通して、お客さまのライフサイクルやスタイル（人生）の様々なシーンに寄り添う新たな価値を提供することで、「潤いのある豊かな社会の実現」を目指しています。

公式HP：<https://www.fujita-kanko.co.jp>

ブランドムービー公開中！：<https://www.fujita-kanko.co.jp/sub/fkmovie>



藤田観光グループのサステナビリティへの貢献について

藤田観光は創業以来、「私たちは、健全な憩いの場と温かいサービスを提供することによって、潤いのある豊かな社会の実現に貢献したいと願っております。」という社是のもと、「環境に関する取り組み」、「多様な価値観に対する取り組み」などを企業としての持続的成長に不可欠で重要なものと捉え、進めてまいりました。これらの取り組みは、持続可能な社会の実現を目指すサステナビリティに相通じるものです。今後も当社は事業を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

サステナビリティに関する取り組み：<https://www.fujita-kanko.co.jp/sustainability/>

藤田観光株式会社が運営する代表的な施設ブランド

全拠点の詳細はこちら（<https://www.fujita-kanko.co.jp/sub/facility/>）をご覧ください。

■WHG事業：ワシントンホテルやホテルグレイスリーを中心に全34拠点

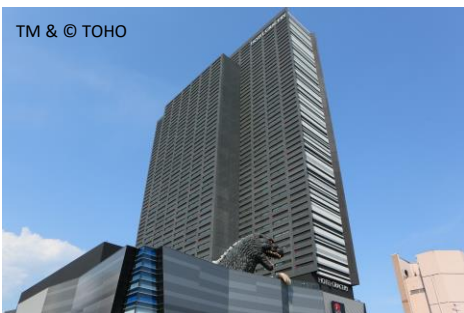
- ・ワシントンホテル 19拠点（<https://washington-hotels.jp/>）
- ・ホテルグレイスリー 10拠点（<https://gracery.com/>）
- ・ホテルタビノス 3拠点（<https://hoteltavinoss.com/>） など

■ラグジュアリー＆バンケット事業：ラグジュアリーホテルや婚礼施設、ゴルフ場など全6拠点

- ・ホテル椿山荘東京（<https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/>） など

■リゾート事業：温泉リゾートやグランピング施設など全19拠点

- ・箱根ホテル小涌園（<https://www.hakone-hoteltokowakien.jp/>）
- ・箱根小涌園 天悠（<https://www.ten-yu.com/>）
- ・箱根小涌園ユネッサン（<https://www.yunessun.com/>） など（2026年8月現在）



＜ 取材に関するお問い合わせ先 ＞

〒112-8664 東京都文京区関口2-10-8 藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部 上田

TEL：03-5981-7722 / FAX：03-5981-7735